

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年 5 月26日

【会社名】 株式会社アドテック

【英訳名】 ADTEC Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小 野 鉄 平

【本店の所在の場所】 東京都港区海岸三丁目 9 番15号  
( 上記は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記の場所で行っております。 )

【電話番号】

【事務連絡者氏名】

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区築地二丁目 1 番17号

【電話番号】 03(3541)5080

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 五十嵐 英

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
( 東京中央区日本橋兜町 2 番 1 号 )

## 1【提出理由】

当社グループ（当社及び連結子会社）の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき提出するものであります。

## 2【報告内容】

### (1) 当該事象の発生日

平成27年5月15日（取締役会決議日）

### (2) 当該事象の内容

当社は、連結子会社である株式会社チームエンタテインメントの最近の業績に鑑み、当社の保有する同社株式及び連結会計上の同社に係るのれんの価値について、慎重に検討し、会計監査人とも慎重に協議した結果、保守的な会計処理を選択することが適切であると判断し、当社の保有する同社株式165百万円及び連結会計上ののれん127百万円の減損損失を特別損失として計上することといたしました。

同社は、音楽CDの企画、製造、販売を主な事業としておりますが、CD市場全体が縮小傾向にある中、ヒットしたアニメやゲーム等のコンテンツを原作とする商品の企画、製作が軌道にのらなかったこと、また、利益率の高い旧譜のリピートオーダーの実績が想定を下回ったことから、最終利益は確保したものの、期初の想定を下回る結果となりました。今期においては、継続して顧客ニーズにかなったCDを企画、発売して安定的な収益を確保するとともに、拡大傾向にあるコンテンツの配信事業を強化し、また、長年の音楽制作のノウハウを活用し、安定的な収益源となりうる受託制作事業と、既存顧客層に対する、コンテンツを活用した音楽以外の分野の商品、サービスの提供の推進により、業績の回復を図ってまいりますが、CD市場の状況は引き続き厳しい状況にあると想定され、将来の収益性に関して保守的に判断すべきであると認識していることから、上記の通り、減損損失を計上することといたしました。

### (3) 当該事象の損益に与える影響額

#### 個別財務諸表

当該事象により、平成27年3月期決算の個別財務諸表において、関係会社株式評価損165百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、当該関係会社株式評価損は、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

#### 連結財務諸表

当該事象により、平成27年3月期決算の連結財務諸表において、減損損失127百万円を特別損失として計上いたしました。

以上